

令和元年度

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業報告書

I. 事業の状況	1
II. 処務の概要	7
III. 計算書類	10
貸借対照表	10
貸借対照表内訳表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	13
財務諸表に対する注記	14
附属明細書	16
財産目録	17
監査報告書 (写)	18

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

I. 事業の状況

1. 助成事業

1-1. 環境研究助成事業

令和元年度 環境研究助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

自然環境の改善に寄与する研究に対する研究資金の助成

① 特定研究

- ・ 総事業費 600 万円程度
- ・ 助成件数 6 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 100 万円以内
- ・ 募集テーマ
 - A：環境配慮型技術に関する研究
 - B：生物多様性に関する研究
 - C：防災・減災に関する研究（新テーマ）

② 一般研究

- ・ 総事業費 400 万円程度
- ・ 助成件数 8 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 50 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 平成 31 年 3 月 5 日～4 月 19 日
- ・ 選考委員会開催 令和 元年 5 月 13 日
- ・ 理事会にて承認 令和 元年 5 月 20 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

① 特定研究

- ・ 応募総数 15 件
- ・ 助成実施件数 6 件
- ・ 助成金額 5,920,000 円

② 一般研究

- ・ 応募総数 13 件
- ・ 助成実施件数 9 件
- ・ 助成金額 4,377,900 円

環境研究助成事業合計

助成実施件数 15 件

助成金額 10,297,900 円

(4) 助成対象者

① 特定研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	金 秉洙	疎水性地盤材料の遮水性を用いた盛土斜面部の安定化工法の提案	970,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	門田有希	サツマイモネコブセンチュウ抵抗性に関する実用的な選抜DNAマーカーの開発	1,000,000
岡山大学大学院 自然科学研究科	依馬 正	無溶媒で常圧の二酸化炭素を用いる環境調和型物質生産	1,000,000
岡山大学資源植物科学研究所	池田 啓	フィトクロムの生理機能の改変を用いた温暖環境に対する適応基盤の構築	950,000
倉敷市立短期大学	平岡敦子	被災経験保育士の経験に基づく保育現場の水害時の防災・減災対策に関する研究	1,000,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	西田英隆	気候変動下においてもムギ類の安定生産を向上させる出穂期関連遺伝子の解析	1,000,000
合計 6件			5,920,000

② 一般研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
川崎医療福祉大学 医療技術学部	上野浩司	香害による神経症状の原因解明の基礎的研究	493,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	村田芳行	活性カルボニル種の生成制御を介した植物の環境ストレス耐性の向上	500,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	三木直子	広葉樹二次林の持続的利用に向けた萌芽再生機構の解明	490,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	氏原岳人	エコ・リパブルシティ実現のための都市構造に関する実証的基礎研究	494,900
就実大学薬学部	川上賀代子	黄ニラの細胞内グルタチオン上昇作用に着目した機能性食品の開発	500,000
岡山理科大学 生物地球学部	大橋唯太	ドローン (UAV) 技術を利用した大規模霧の立体気象観測	500,000
岡山理科大学 生物地球学部	能美洋介	付加体砂岩のジルコンは後背地について何を語るか—四万十帯古第三系砂岩のジルコン結晶形態を中心に—	400,000
岡山理科大学 理学部	豊田 新	東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う環境汚染による生態系の被曝一牛の生体線量計測	500,000
岡山県農林水産総合センター	後藤弘爾	日長に応答して花をつけるトマト品種開発のための基盤研究	500,000
合計 9件			4,377,900
環境研究助成事業合計15件			10,297,900

(注) 所属機関、役職名は申請時現在。

1-2. 国際研究交流助成事業

令和元年度 国際研究交流助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

環境科学に関する海外研究集会への参加、又は海外研究者の招聘にかかる渡航費用等の助成

- ・ 総事業費 80 万円程度
- ・ 助成件数 4 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 20 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 平成 31 年 3 月 5 日～4 月 19 日
- ・ 選考委員会開催 令和 元年 5 月 13 日
- ・ 理事会にて承認 令和 元年 5 月 20 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・ 応募総数 4 件
- ・ 助成実施件数 3 件
- ・ 助成金額 566, 580 円

(4) 助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学大学院 自然科学研究科 教授	富田栄二	29th CIMAC Congress	発表	カナダ、 バンクーバー	167, 490
岡山大学大学院 自然科学研究科 博士課程	谷 夢希	26th International Symposium on Electro-separation and Liquid Phase-Separation Techniques (ITP2019)	発表	トゥールーズ、フ ランス	200, 000
岡山大学大学院 自然科学研究科 博士課程	井上寛隆	N T 19	発表	ドイツ ヴェルツブルグ	199, 090
合計 3件					566, 580

1-3. 研究集会助成事業

令和元年度開催の研究集会助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

令和元年 10 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・ 総事業費 90 万円程度
- ・ 助成件数 3 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 30 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 平成 31 年 3 月 5 日～4 月 19 日
- ・ 選考委員会開催 令和 元年 5 月 13 日
- ・ 理事会にて承認 令和 元年 5 月 20 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・ 応募総数 1 件
- ・ 助成実施件数 1 件
- ・ 助成金額 300,000 円

(4) 助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授	澤田大介	第 45 回 反応と合成の進歩シンポジウム	倉敷市	2019. 10. 28 ～ 2019. 10. 29	300,000
合計 1件					300,000

1-3-1. 追加募集（研究集会助成事業）

令和元年度 研究集会助成事業の追加募集を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

令和 2 年 2 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・ 総事業費 60 万円程度
- ・ 助成件数 2 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 30 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 令和元年 10 月 10 日～令和元年 11 月 29 日
- ・ 選考委員会（書面） 令和 2 年 2 月 27 日
- ・ 理事会にて承認（書面） 令和 2 年 3 月 10 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・ 応募総数 1 件
- ・ 助成実施件数 1 件
- ・ 助成金額 300,000 円

(4) 助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	山崎慎一	第35回中国四国地区高分子若手 研究会	岡山	2020.11.5～ 2020.11.6	300,000
合計 1件					300,000
研究集会助成事業合計2件					600,000

2. その他の事業

2-1. 環境科学啓発事業

小中高生の科学に対する関心離れへの対策や一般人の環境科学の啓発を目的に、岡山県内において広く活動している団体等に対して、ホームページにより公募した。

(1) 募集内容

- ・総事業費 20万円程度
- ・助成件数 2件程度
- ・助成金額 1件あたり10万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 平成31年3月5日～4月19日
- ・理事会にて承認 令和元年5月20日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 2件
- ・助成実施件数 1件
- ・助成金額 100,000円

(4) 助成対象者

(単位：円)

氏名	参加会議名 講演又は発表の表題	助成金額
岡山市少年少女発明クラブ 上田達伸	自由発想を重視したロボット製作活動	100,000
合計 1件		100,000

((注) 所属機関、役職名は申請時現在。

2-2. シンポジウム等の開催事業（研究成果発表会開催）

(1) 予算額及び実施額

- ・予算額 200,000円
- ・実施額 164,616円

研究成果発表会を、「おかやま教育の日」協賛事業として、以下のとおり開催した。

開催日	発表者	開催場所	参加者数	入場料金
令和元年11月5日	平成30年度環境研究助成事業 の助成対象者9名	岡山大学創立五十周年記念館	80名	無料

2-3. 出版物の編集・刊行事業（研究レポート集刊行）

平成30年度助成対象者の研究助成報告書等に基づき、令和元年10月に「研究レポート集2019（第20号）」を刊行、200部作成し、岡山県内の研究機関、図書館等へ無料で配布した。

(1) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 600,000 円
- ・ 実施額 517,000 円



「研究レポート集2019（第20号）」

2-4. 調査研究事業

今年度は、計画年度として、助成事業の成果の整理や研究開発等の企画、資料・情報の収集および提供、調査・研究等の支援について事務局にて検討を行った。次年度以降、実施予定としている。

また、引き続き、ホームページ等で助成の総括およびシンポジウムの内容を公開した。

2-5. 表彰事業

平成30年度環境研究助成特定テーマの助成対象者の中から「論文」ならびに研究発表会での「プレゼンテーション」の2区分により当財団選考委員からなる「八雲賞審査委員会」で、厳選なる審査を行い、決定した。

(1) 八雲賞受賞者

岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授 能年義輝

(2) 受賞テーマ

「低環境負荷型の病害防除剤である抵抗性誘導剤のシーズ開発研究」

(3) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 50,000 円
- ・ 実施額 45,430 円

Ⅱ. 処 務 の 概 要

1. 役員他に関する事項

(令和2年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
理事長 理事	小谷 裕司	平成30年5月30日	(株)エイト日本技術開発代表取締役社長
	河野 伊一郎	平成30年5月30日	倉敷芸術科学大学学長
	辻 英明	平成30年5月30日	岡山県立大学学長
	沖 陽子	平成30年5月30日	岡山県立大学副学長
	佐藤 豊信	平成30年5月30日	岡山商科大学大学院経済学研究科教授
	波田 善夫	平成30年5月30日	岡山理科大学地球生物学科教授
	阿部 宏史	平成30年5月30日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	伊丹 文雄	平成30年5月30日	E・Jホールディングス(株)顧問
監事	西田 秀史	平成30年5月30日	弁護士
	石村 顕示	平成30年5月30日	税理士
	小谷 浩治	平成30年5月30日	(株)エイト日本技術開発管理本部副本部長
評議員	本水 昌二	平成28年6月1日	岡山大学名誉教授
	杉尾 剛	平成28年6月1日	岡山大学名誉教授・杉尾化学合成独立栄養細菌研究所所長
	西垣 誠	平成28年6月1日	岡山大学名誉教授
	鳥越 良光	平成28年6月1日	岡山商科大学名誉教授
	星野 卓二	平成30年5月30日	岡山理科大学生物地球学部特担教授
	神埼 浩	平成30年5月30日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	岩田 正晴	平成28年6月1日	ロック地域計画事務所 代表
	谷本 俊夫	平成28年6月1日	元E・Jホールディングス(株)取締役
選考委員	藤井 勉	平成28年6月1日	(株)エイト日本技術開発専務取締役
	稲井 寛	平成28年6月1日	岡山県立大学情報工学部教授
	坂本 圭児	平成28年6月1日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	大久保賢治	平成28年6月1日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	田村 隆	平成30年4月1日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	佐藤 丈晴	平成30年4月1日	岡山理科大学生物地球学部准教授
	永井 泉治	平成28年6月1日	(株)エイト日本技術開発取締役常務執行役員

2. 職員に関する事項

(令和2年3月31日現在)

役 職	氏 名	採用年月日	給与	担当事務	備考
事務局	小谷 満俊	平成26年6月1日	無給	企画及び総務	兼任
〃	二木 里美	平成26年6月1日	無給	企画及び総務、経理及び財務	兼任

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和元年 5 月 20 日	現在数 7 名 書面決議	1. 平成 30 年度事業報告の件 2. 平成 31 年度助成事業承認の件 3. 平成 31 年度環境科学啓発事業承認の件 4. 評議員会開催の件	可決 可決 可決 可決
令和 2 年 3 月 10 日	現在数 8 名 書面決議	1. 令和2年度事業計画及び収支予算書の件 2. 令和 2 年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和 2 年度助成事業募集要項の件 4. 令和2年度環境科学啓発助成事業募集要項の件 6. 株式会社八雲の定時株主総会の件 7. 評議員会開催の件 8. 令和元年度研究集会追加募集承認の件	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和元年 6 月 5 日	現在数 9 名 本人出席 8 名	1. 平成 30 年度事業報告の件 2. 令和元年度助成事業承認の件 3. 令和元年度環境科学啓発事業承認の件 4. 定款一部変更の件	可決 可決 可決 可決
令和 2 年 3 月 10 日	現在数 9 名 書面決議	1. 令和2年度事業計画及び収支予算書の件 2. 令和 2 年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和 2 年度助成事業募集要項の件 4. 令和2年度環境科学啓発助成事業募集要項の件	可決 可決 可決 可決

4. 行政庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当事項はありません。

5. 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
平成 31 年 4 月 1 日	株式会社エイト日本技術開発	財団事務を月額 50,000 円にて委託する。

6. 寄付金に関する事項

寄附目的	種類	数	領収金額
運用財産として	個 人	1	5,000 円

7. 行政庁の指示に関する事項

該当事項はありません。

8. 税法上の収益事業に関する事項

該当事項はありません。

9. その他重要な事項

該当事項はありません。

Ⅲ. 計 算 書 類

貸 借 対 照 表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,040,149	2,215,363	△ 1,175,214
流動資産合計	1,040,149	2,215,363	△ 1,175,214
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	47,912,000	47,912,000	0
投資有価証券	221,000,000	221,000,000	0
基本財産合計	268,912,000	268,912,000	0
固定資産合計	268,912,000	268,912,000	0
資産合計	269,952,149	271,127,363	△ 1,175,214
II 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	268,912,000	268,912,000	0
指定正味財産合計	268,912,000	268,912,000	0
(うち基本財産への充当額)	(268,912,000)	(268,912,000)	0
2. 一般正味財産	1,040,149	2,215,363	△ 1,175,214
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	269,952,149	271,127,363	△ 1,175,214

貸借対照表内訳表
(令和2年3月31日現在)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金		1,040,149		1,040,149
流動資産合計		1,040,149		1,040,149
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	33,538,400	14,373,600		47,912,000
投資有価証券	94,000,000	127,000,000		221,000,000
基本財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
固定資産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
資産合計	127,538,400	142,413,749		269,952,149
II 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
(うち基本財産への充当額)	(127,538,400)	(141,373,600)		△ 268,912,000
2. 一般正味財産		1,040,149		1,040,149
(うち基本財産への充当額)				
正味財産合計	127,538,400	142,413,749		269,952,149

正味財産増減計算書

(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	13,104,790	12,864,930	239,860
基本財産受取利息	2,154,790	1,914,930	239,860
基本財産受取利息振替額			
基本財産受取配当	10,950,000	10,950,000	
②受取寄付金	5,000	5,000	
受取寄付金	5,000	5,000	
④雑収益	40	100	△ 60
受取利息	40	100	△ 60
経営収益計	13,109,830	12,870,030	239,800
(2) 経常費用			
①事業費	13,128,526	9,145,888	3,982,638
研究支払助成金	11,564,480	7,574,500	3,989,980
会場費	210,046	946,068	△ 736,022
印刷製本費	1,354,000	625,320	728,680
②管理費	1,156,518	1,992,631	△ 836,113
事務委託料	600,000	600,000	
会議費	160,223	917,286	△ 757,063
旅費交通費	92,000	139,000	△ 47,000
印刷製本費	9,720	50,306	△ 40,586
通信運搬費	106,000	88,070	17,930
消耗品費	12,285	17,288	△ 5,003
租税公課	960	960	
雑費	175,330	179,721	△ 4,391
経常費用計	14,285,044	11,138,519	3,146,525
当期経常増減額	△ 1,175,214	1,731,511	△ 2,906,725
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 1,175,214	1,731,511	△ 2,906,725
一般正味財産期首残高	2,215,363	423,992	1,791,371
一般正味財産期末残高	1,040,149	2,215,363	△ 1,175,214
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	268,912,000	268,971,860	△ 59,860
指定正味財産期末残高	268,912,000	268,912,000	
III 正味財産期末残高	269,952,149	271,127,363	△ 1,175,214

正味財産増減計算書内訳表
(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	11,268,353	1,836,437		13,104,790
基本財産受取利息	318,353	1,836,437		2,154,790
基本財産受取利息振替額				
基本財産受取配当	10,950,000			10,950,000
②受取寄付金	5,000			5,000
受取寄付金	5,000			5,000
④雑収益	40			40
受取利息	40			40
経常収益計	11,273,393	1,836,437		13,109,830
(2) 経常費用				
①事業費	13,128,526			13,128,526
研究費支払助成金	11,564,480			11,564,480
会場費	210,046			210,046
印刷製本費	1,354,000			1,354,000
②管理費	633,007	523,511		1,156,518
事務委託料	420,000	180,000		600,000
会議費		160,223		160,223
旅費交通費		92,000		92,000
印刷製本費	6,804	2,916		9,720
通信運搬費	74,200	31,800		106,000
消耗品費	8,600	3,685		12,285
租税公課	672	288		960
雑費	122,731	52,599		175,330
経常費用計	13,761,533	523,511		14,285,044
当期経常増減額	△ 2,488,140	1,312,926		△ 1,175,214
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,488,140	1,312,926		△ 1,175,214
一般正味財産期首残高	△ 1,777,257	3,992,620		2,215,363
一般正味財産期末残高	△ 4,265,397	5,305,546		1,040,150
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産期末残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
III 正味財産期末残高	123,273,004	146,679,146		269,952,150

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法

その他の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	47,912,000	0	0	47,912,000
投資有価証券	90,000,000	90,000,000	90,000,000	90,000,000
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
投資有価証券	14,000,000	0	0	14,000,000
投資有価証券	17,000,000	0	0	17,000,000
合 計	268,912,000	90,000,000	90,000,000	268,912,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	47,912,000	(47,912,000)	0	0
投資有価証券	90,000,000	(90,000,000)	0	0
投資有価証券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
投資有価証券	14,000,000	(14,000,000)	0	0
投資有価証券	17,000,000	(17,000,000)	0	0
合 計	268,912,000	(268,912,000)	0	0

6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当事項はありません。

9. 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当事項はありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりであります。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
中銀証券株式会社 クレディスイスAG ユーラブル固定	90,000,000	71,514,000	△ 18,486,000
大和証券株式会社発行日経リンク債	100,000,000	97,580,000	△ 2,420,000
合計	190,000,000	169,094,000	△ 20,906,000

(R2.3.31)

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項はありません。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項はありません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項はありません。

14. 重要な後発事象

該当事項はありません。

15. その他

該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳に記載のとおりであります。

2. 引当金の明細

該当事項はありません。

財 産 目 録
(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額	
(流動資産)	現金		運用資金として使用している	63,327	
	預金	普通預金	運用資金として使用している		
		三井住友銀行岡山支店		744,182	
		中国銀行奉還町支店		232,640	
流動資産合計				1,040,149	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三井住友銀行岡山支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	47,912,000
		投資有価証券	中銀証券株式会社 モルガン・スタンレー保証付 円建社債	公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	90,000,000
			(株)八雲株式優先株式280株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	14,000,000
			(株)八雲株式普通株式340株	運用益を公益目的事業の財源として使用している。	17,000,000
			大和証券株式会社発行日経リンク債	公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産として、運用益を管理費の財源に充てている。	100,000,000
固定資産合計				268,912,000	
資産合計				269,952,149	
正味財産				269,952,149	

監査報告書

令和2年4月17日

公益財団法人 八雲環境科学振興財団
代表理事 小谷 裕 司 殿

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

監 事 西田 秀史

石村 顕示

小谷 浩治

平成31年4月1日より令和2年3月31日までの令和元年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上